

匠の技で

鉄のひずみに挑戦

期 納
相 談
企 画 力
自 信 有
コ ス ト
相 談
試 作 可
小 ロ ッ ト
量 産
対 応



ショベルカーのバケット溶接

業務
内容
溶接技術で金属を
あらゆる形に加工

板金加工から溶接、組立を行う南海金属は、年間2500種の部品製造を手掛けている。

部品は複数の子部品から構成されており、複雑な形を加工するため多岐にわたる治具も自社製作。溶接熱影響を考えた治具の設計・加工も得意とする。溶接処理をいかに美しく、早く処理するかの技術工夫を重ねる同社は得意先からのリピート率が高く、耕うん機や田植え機、コンバイン等の農業機械部品の製造実績が豊富だ。優れた溶接技術を活かし、建設機械や一般産業機械の部品製作、治具の設計・製作等にも幅を広げている。

強み
3D・CADを駆使した
ものづくり設計

依頼図面を3D・CADによって視覚化している同社。設計担当者が内容を精査し、ものづくりの立場からアイデアを出し、改善提案を行っている。例えば、溶接ひずみを抑えた構造を提案したり、プレス加工からレーザ加工へと工法置換したり、案件ごとに最も効率的な工法を提案することで製品の完成度アップにつなげている。

中でも、耐久性試験を念入りに行う農機や建機は、試作部品の段階から量産体制の正規工程に近づけることが品質保証向上の要因になる。設計段階からのきめ細やかな提案は、営業部門と技術部門が合体したことにより磨かれているのだ。

「品質を決めるのはお客様。すべて

はお客様さまの目線で」がモットーで、高品質とコスト削減を意識した提案力がある大きな強みである。

技術力
向上
会社は人間形成の場
主役は社員

会社は人間形成の場であり、学校そのものと考えている同社は、昭和57年から『南海学園』の看板を正門に掲げている。コンセプトは「相互扶助」と「自立心」で、社員それぞれの生き方に反映させてほしいと考えている。

また、いち早く社内ネットワークやテレビ会議システムを導入し、本社・真岡両工場の合同朝礼から生産会議等に活用。工場には10台以上のWebカメラを設置し、相互の生産状況を把握するだけでなく、現場改善にもつなげている。「社員が主役」の会社を体現し、心を込めたものづくりを目指しているのだ。

今後の
展望
ベトナム工場を操業し
活動の場を世界へ

創業60周年を迎える平成25年には、ベトナムのドンナイ省に工場を進出予定。

「10年先を考えて、海外進出を決断しました。先進的な日本の技術を東南アジアの拠点と結んでいきたい」と抱負を語る柳社長。ベトナムを舞台に、アジア全域を活動の場としてその輪を広げていく方針だ。



ベトナム工場のパース図

COMPANY PROFILE

南海金属株式会社

ISO 9001
ISO 14001

当社の 歴史

当社は初代社長が昭和28年に創業。私は画家を志し世界各地を6年、放浪しました。「毎日が勉強。教育の原点は、高い目標、志を立てること」という考えから、それぞれが自分の現場に「世界一」といった標語を掲げています。IT推進室を設けWebサイトで日本語、英語、ベトナム語で情報を発信し「南海金属の今」を伝えています。

何気なくやらない。どうせやるなら世界一を目指す。

代表取締役 柳 善朗さん



■主な事業内容
農業・建設機械・板金加工部品の製造・設計・開発 等

■主な取引先（納入先）
農業機械メーカー、建設機械メーカー 等

住 所／〒592-8331
堺市西区築港新町
2-6-21
T E L／072-245-7201
F A X／072-245-7277
創 業／昭和28年9月
設 立／昭和43年9月
資本金／2,600万円
従業員／105名

<http://www.nankai-kinzoku.co.jp/>